

聯合國總司令部發 日本帝國政府宛

一九四六年一月四日附屬書(AGS 091 (4 Jan 46) G45) 假譯

(或種ノ政黨、政治的結社、協會及其他團體ノ廢止ノ件)

一 政府ハ其ノ目的又ハ其ノ活動ノ影響が次ノ各項ニ該當スルが如キ一切ノ政黨、政治的結社、協會及團體ノ結成並ニ夫等ノ一又ハ個人若ハ集團ノ一切ノ行為ヲ禁止スベシ

A 占領軍ニ對スル又ハ日本政府が聯合國最高司令官ノ指令ニ應ジテ發シタル命令ニ對スル反抗又ハ反對

B 日本ノ侵略的對外軍事行動ノ支持又ハ正當化

C 日本ガ他ノ「アジア」、^種「インドネシヤ」又ハ「マレー」人種ノ指導者タルコトノ僭稱

D 日本國內ニ於ケル外國人ノ貿易、商業及彼等ノ職業ニ從事スルコトヨリノ排除

E 日本及諸外國間ニ於ケル自由ナル文化的、學術的交換ニ對スル及對日本國內ニ於ケル軍事的又ハ準軍事的訓練ノ實施及元陸海軍人タリシ者ニ對スル同等ノ民間人ニ與ヘラレル以上ノ恩典ノ供與又ハ特殊ノ發言權ノ附與及軍國主義又ハ軍人の精神ノ存續

G 暗殺其他ノ暴力主義的計畫ニ依ル政策ノ變更又ハ斯ル方法ヲ是認スルが如キ傾向ノ助長又ハ正當化

二 上述第一項ニ規定セラレタル如キ事項中若干ノモノ又ハ一切ヲ目的トスル團體ノ表ヲ本屬書附屬書A號ニ記載シタリ、本表ハ其ノ全部ヲ包含セルモノニヤラズ、右附屬書ニ列舉セラレタル團體及其ノ目的或ハ行動が前述各項ニ該當スルカ又ハソレト同様ノモノタル^種其他ノ團體ハ直ニ其ノ統制スルカ關係スル一切ノ團體ト共ニ之ヲ解散スベシ

三 A 政府ハ本屬書ニ基キ解散セラレタル或ハ解散セラルベキ且第一項ニ列舉セラレタル如キ種類ノ一切ノ團體が全部又ハ一部ヲ直接又

ハ間接ニ所有シ又ハ支配スル一切ノ資産ニ関スル一切ノ取引ヲ禁止スルニ必要ナル措置ヲ直チニ執ルベシ、政府ハ之等團體ノ一切ノ帳簿、書類、記録ヲ含ム右ノ如キ資産全部ヲ接收保管スベシ、政府ハ之等資産ノ全部ノ完全ナル記録ヲ入手シ、公的記録トシテ検査ニ供シ得ル如ク之ヲ保管スベシ、之等記録ヲ託サレタ官吏ハ個人的ニ其ノ安全ナル保存ニ付責任ヲ負フベキモノトシ、食糧生産、避難所タルコト又ハ生活上ノ必要ノ爲ノ之等資産ノ利用ハ直ニ之ヲ爲スベシ

政府ハ本覺書ニ基キ解散セラレタル團體ニ於テ一九三七年（昭和十二年）七月七日以後如何ナル時期ニ於テニセヨソノ役員トナリタルコトアル者ニ付、ソノ姓名、住所並ニソノ占メタル地位ヲ直チニ調査シ當司令部ニ報告スベシ、之等調査事項カ亦公的記録トシテ利用シ得ル如ク爲シ置クベシ、全會員名簿モ亦提出セラルベシ

四、政府ハ本覺書ノ條項ヲ履行シ且將來本條項違反ノ活動ヲ阻止スル如

キ法律或ハ命令ヲ制定スベシ

五、聯合國最高司令官ク更ニ指令ヲ發スル迄ハ如何ナル團體ト雖モ次ノ各項ニ該當スル場合ハ、ソノ公表セル目的トハ關係ナリ、本覺書ノ條項ニ違反スル目的乃至行動ヲ促進スルモノト認ムベシ

A 其ノ主要役員ノ何レカカ

(一) 本命令ニ依リ廢止セラレタル團體ノ一員タル場合、

(二) 元日本帝國正規陸海軍將校又ハ特別志願隊備役將校ニシテ一九三〇年

(昭和五年)一月一日以後現役ニアリシモノタル場合

(三) 憲兵隊、海軍保安隊、特務機關、海軍特務部又ハ陸海軍警察

機關ノ特殊或ハ秘密情報機關ニ勤務シタル者又ハ之ト協力シタ

ル場合

B 其ノ會員中ニ割五分以上本覺書ニ基キ廢止セラレ又ハ禁止セラレタル團體ノ元會員タリシモノヲ含ム場合

六、政府ハ其ノ目的又ハ行動ガ次ノ各項ニ該當スル一切ノ黨、協會、團體、結社又ハ集團ノ結成又ハ行動ヲ禁止スヘシ

A 公職候補者ノ推薦又ハ支持

B 政府ノ政策ニ影響ヲ及ボスコト

C 日本及諸外國間ノ關係ニ關スル論議

但シ最初ニ於テ其ノ(A)名稱(B)目的(C)主要事務所ノ所在地(D)役員ノ姓名住所及ビ其ノ軍隊又ハ警察勤務ニ關スル記述並ニ其ノ現ニ會員タリ又ハ會員タリレコトアル結社、協會又ハ黨ノ名稱(E)有力ナル財政的援助者ノ姓名住所並ニ各人ノ援助額(F)其ノ會員ノ姓名住所ノ名簿ニ關スル陳述書ヲ其ノ主要事務所ヲ設置シタル又ハ設置セントスル市又ハ町ノ役所又ハ所役場ニ届出デタル場合ハ此ノ限ニアラス斯カル陳述書ハ目的及會員ニ變更アリタルニ伴ヒ常時實狀ヲ表ハス様ニ修正セラレ居ルコトヲ要ス會員ノ變更及主要寄附ニ關シ

テハ最高司令官ノ要求ニ依リ陳述ヲ爲サルヘク役員又ハ目的ノ變更アリタル場合ハ直ニ報告スベシ政府ハ斯カル陳述書又ハ變更ノ報告ヲ受付ケタル市町長ハ其ノ寫ニ通ヲ在京日本帝國政府ノ所管官廳ニ送付スベキコトヲ指令スベシ斯カル陳述書ノ原本及其ノ寫一通ハ一般執務時間中ハ何時ニテモ公衆ノ閱覽ニ供シ得ル如ク爲シ置クベシ上述ノ如何ナル行為ニ關シテモ料金を徴收スルヲ得ズ而シテ之等陳述書ノ提出ニ關シテ定メラルル手續ハ上述ノ指示ニ應ズルコトヲ出來ル限リ簡單容易ナル如キモノタラシムベシ

會員ノ姓名住所ノ名簿ノ提出ヲ必要トセル本項ノ規定ハ勞賃、労働時間、労働條件ニ關スル問題ノ討議又ハ之等ノ問題ニ關シ彼等ヲ代表シテ雇傭主ト接衝スル者ノ選拔ノ爲ニ集ムタル労働者又ハ雇傭人ノ集團又ハ其ノ他團體ニハ之ヲ適用セズ

七、本覺書第六項ノ條項ノ目的ハ日本ニ於ケル政治團體ノ性質ヲ一般ニ周知セシメ、以テ秘密的、軍國主義的、極端ナル國家主義的且反民主主義的結社及團體ノ結成ヲ阻止スルニ一リ、ソレハ特ニ本覺書中ニ述ベラレタル目的及行為ニ関スルニ非サル限リ集會、言論又ハ信教ノ自由ヲ阻害スル様ニ解釋シ又ハ適用スベカラズ

八、政府ハ本覺書ノ指示事項實施ノ計畫ヲ右ニ應ジテ發スル法律、命令或ハ指令ヲ添ヘ提出シ、聯合國最高司令官ノ承認ヲ受クベシ、本覺書ニ應ズル為ニ制定スル法律又ハ命令ニハ、右承認アリタルトキハ、其ノ制定期日トハ關係ナリ本覺書日附ノ日ヨリ效力ヲ有スベキ日規定スベシ

最高司令官ニ代リテ

高級副官部高級副官補

H. W. アレン大佐

附書 A

日本帝國政府ニ對スル覽書 AGCI (4 Jan. 46) GS 第二項ニ於
テ言及セラレタル廢止セラルベキ団体ノ表

註一 本表ハ前述覽書ノ指令ニ基キ解散セラルベキ団体ノ全テヲ
包含スルモノニアラス

- 一 大日本一新會
- 二 大日本興亞聯盟及其ノ一切ノ關係団体
- 三 大日本生産黨
- 四 大日本赤誠會
- 五 大東亞協會
- 六 大東塾
- 七 言論報國會
- 八 玄洋社

九 時局協議會

- 一〇 鶴鳴社
- 一一 建國會
- 一二 金鷄學院
- 一三 黑龍會
- 一四 國際反共聯盟
- 一五 國際政經學會
- 一六 國粹大衆黨
- 一七 國体擁護聯合會
- 一八 明倫會
- 一九 瑞穗俱樂部
- 二〇 尊攘同志會

二一 大化會
二三 天行會
二三 東亞聯盟
二四 東方同志會
二五 重友會
二六 やまとむすび本社
二七 全日本青年俱樂部

裏面白紙